

第3回

Japa フォーラム

地方創生の課題その3

～地方・地域の外からみた視点から～

2019年2月26日

主催：Japa 日本専門家活動協会
Japan Association for Professionals' Activities

協賛：青山学院Hicon

Copyright © 2018 Japan Association for Professionals' Activities & FellowLink Corporation. All Rights Reserved.

開催のご挨拶

Japa
専門家個人が専門家として
居場所を得て活躍できる社会づくりをめざして

日本専門家活動協会は
既往の分野・組織・枠組み・年齢・地域を越えて
専門家が集い Social Collaboration Networking する
プラットフォームです

■ Japaフォーラム「地方創生の課題シリーズ」開催の趣旨

- 「地方創生」は、
 - ✓ 地方・地域に根ざした長期的な適応力（レジリエント）と自律的持続性（エコシステム化）が問われるテーマ
 - ✓ 多様な分野に跨る横断的なテーマ
- であり、多様な分野の専門家、実務家、関心者、行政担当者が集い、議論し、
智恵を出し、実行することが必要 → Japaのめざす方向と一致
- このため、多様な視点から、「地方創生」を捉え直し、**真の「地方創生」に繋がるソリューション提案をめざして**、シリーズ開催（2018～2019年度）を実施中。

「地方創生の課題シリーズ」の問題認識

- そもそも「地方創生」とは何か、なすべき主体・主役は誰か
 - 「“地方” “創生”」という表現はそもそも適切か

- 「地方創生」の目的、目標（Goal）は何か

- 何をもって「地方創生」が成功したと云えるのか

[参考] Goal は、到達することよりも、「ゴールに向かうという姿勢」を示すことに意味がある。しかし、姿勢があっても目標を達成しないと評価されないのが日本。姿勢が違っていても非難されない。そこで、できるだけ目標を持たないようにする。

出典：安井 至・内閣府 パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定懇談会委員

- 地方創生の真の課題は何か

- 多様な視点からの具体的な事実に基づく論点提起、課題抽出
 - ✓ 社会システムズアプローチ

- 真の「地方創生」の実現に向けて、

何をなすべきか、何ができるか

これまでの論点提起

- 第1回 Japaフォーラム kick off

- 地方創生の課題諸相 海外における地方創生—イタリアの事例—
[小畑 喜一氏：日本専門家活動協会 理事]
- 空家の視点から見た地方創生
[室田 昌子氏：東京都市大学 教授]
- 着地型観光に向けた事業創造・顧客創造・組織創造戦略
[玉木 欽也氏：青山学院Hicon代表取締役・青山学院大学経営学部教授]
- プロデュースの視点から
[富田 剛史氏：トミタプロデュース(株)]

- 第2回 Japaフォーラム ～産官学金の視点～

- 地方の産学連携からみた課題
[佐竹 弘：Japa理事、元産学連携学会会長・徳島大学教授]
- まちの存亡はいとしんの存亡
[伊藤 一久：糸魚川信用組合 まちづくり推進室 室長]
- 国際スポーツ大会を契機とした地方創生
[田上 聖子：熊本市東京事務所長、熊本国際スポーツ大会東京営業本部長]

本日の第3回Japaフォーラムの進行

- 15:00～15:05 開会挨拶 [Japa日本専門家活動協会 代表理事]
- 15:05～16:05 自己紹介&各視点からの論点提起 3名@20分
 - グローバルな視点からみた地方創生の課題
【篠原康明氏：Japa理事、元（一財）都市みらい推進機構企画調整部長】
 - 全国的な視点からみた地方創生の課題
【松藤 保孝氏：関西学院大学教授、元 内閣府 地方創生推進室 内閣参事官】
 - 海外企業の日本の地方・地域への投資からみた地方創生の課題
【木川美樹子氏：ジェトロ対日投資部対日投資課 課長代理】
- 16:05～17:00 論点提起者と参加者を交えた討議

[15分間 休憩、会場再設営]
- 17:15～18:30 懇親会